

風 からの (現場) フィールド

宮田守男

今日は2月の月末、四年に一度の「うるう日」の年ではないので歳を取るのが1日早くなってしまうと感じる月末でもある。うるう日は漢字で閏日と書

き、王が門にいらるといふ成立ちの漢字で、昔の中国で曆からはみ出した期間だけは皇帝が祖先の祭祀を行う廟の中に入らず、門に留まる習慣があるなど特別な日とされた史実がある日だ。

53年前の2月28日、連合赤軍の5人が管理人の妻を人質に

「浅間山荘」に籠城して10日目の最大の山場を迎えた日で、警視庁と長野県警の機動隊が山荘を包囲し、犯人らと銃撃戦を行いつつながらクレーン車に吊った鉄球で山荘の壁と屋根を破壊し放水するなどし

日本の主食「米」について 深刻な事変が多発している

て、殉戦者3人を出しながらも人質を救出した現場をテレビ映像で見続けた長い一日の記憶が鮮明に残っている。当時NHK長野放送局の記者であった加藤和郎さんは現地中継のディレクターを担当

にも悲惨な歴史を多くの方が学んでほしい。コメの価格高騰が続く中で政府は備蓄米の放出を発表。備蓄米は1万トン備蓄するのに年間1億円経費を要する管理下で倉庫は空調で管理されたコメだ。コ

し、最高視聴率は89.7%。国民の目をくぎ付けにした。昭和40年代の全共闘運動を知らない世代には実感として理解しづらいかもしれないが、「総括」という名で行われた思想行動を繰り返さないため

メの管理に不慣れな転売業者が生産者から直接買い取り在庫を抱えるケースの情報が伝わってくる。「メの中には、書虫であるコクゾウムシやノシメマダラメイガの幼虫や成虫が潜んでいる場合があ

自宅前の村道沿いの3月を超える積雪状況に今年営農が心配になる



り、常温で保存しておくと袋の中でこれらが大量に湧いてしまう場合がある。寒い今の時

期はいいとしても梅雨明けの時期が心配だ。虫を駆除するために人間の健康に害する殺虫

剤を使用する業者の心配もある。各家庭で大量の買い置きには注意が必要だ。アメリカ産の「カルロース米」は国産米より低価格で販売されている情報もある。またアメリカ・ロサンゼルスのスーパードでは日本米(新潟産コシヒカリ)が5.3000円(1ドル150円)で売られていると現地から日本のコメの異常な高騰ぶりを指摘する報道も。日本の主食のコメへの不信感が、コメ離れにつながらないことを祈るばかりだ。(信州地域社会フォーラム会員 山岡村森上)